

会議の概要

平成28年度 第1回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

日時 平成28年5月18日(水) 18:15~20:15

場所 改善センター2階 農事研修室・相談室

1 開会の言葉

H27 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長より

2 委員の任命・委嘱状の交付

- ・新たに任命された委員5名に代表受領により交付した。
- ・今年度より、コミュニティ・スクール委員が兼務することになった学校関係者評価委員の委嘱状を各校園学校関係者評価委員長に代表受領により交付した。



3 教育長あいさつ

- ・国では、「コミュニティ・スクール」「地域とともにある学校」ということを強調している。大玉では、「地域とともにある」を更に発展させて、活動的な意味合いを持たせた「地域とともに歩む学校」として教育をすすめたい。
- ・今年度より 学校関係者評価 をコミュニティ・スクールの中に組み入れた。
- ・今年オープンスクールを実施する。これと学校運営協議会(コミュニティ・スクール委員会)を同日に開催し各校・園に特化した協議をより充実したものとしていただきたい。
- ・「おおたま・オータム・フェスタ」は、土曜授業による豊かな体験の場となるよう、学校、家庭、地域が連携して役割分担しながら取り組みたい。

4 役員改選

- ・会長 1名(境野健児)、副会長 3名(後藤みづほ・藤田安宏・伊藤和弥)を選任した。

5 各園・各校から(今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他)

① 幼稚園

【幼稚園からの報告】

- ・今年度は、入園児が減となった。
- ・子ども達が様々なことにチャレンジしてみんなで課題を乗り越えていけるよう取り組みたい。
- ・重点目標は「自分で考え進んで行動できる子ども」である。
- ・丈夫な体を作るために運動遊びの充実を目指し、その時間を確保した。

【質問・意見等】

- ・入園児が減った理由について、震災の影響もあったかと思われるが、来年はもとの人数に戻る予想である。
- ・男性の先生方は子どもたちにとってどのような存在なのか。

② 小学校

【小学校からの報告】

- ・幼稚園との連携を図り、地域の方の協力を得ながら地域とともに歩む学校を目指す。
- ・大玉の子どもとして自信と誇りを持たせ、学校という集団教育の中で、様々なことに挑戦させる。
- ・子ども達の主体性の育成が学校の大きな課題である。

【質問・意見等】

- ・樹木の剪定のボランティアの経験から、子ども達自身にも環境を守り自分の学校を大切にすることを教える必要があるのではないかという意見がでた。
- ・芝生の校庭について、安全面と暑さ軽減の効果があることを説明する。

③ 中学校

【中学校からの報告】

- ・本校では数学が学力面での課題であるため、全てのクラスで教員二人体制で指導にあたる。
- ・県北地区陸上大会で好成績を収め、中体連にも期待がかかる。

6 平成28年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会の方針・年間活動計画について

【事務局より説明】

- ・オープンスクール（おおたま学園主催の授業研究会）に、CS委員が参加し、当日の夕方に各校園の学校運営協議会を行う。
- ・本年度から新たに学校関係者評価機能をCS委員会に組み入れた。学校経営・運営の改善のサイクルを有効に機能させていきたい。
- ・教育フォーラムは、保護者、村民の方々が年に1回集い、教育・子育てについて語り合う場として継続したい。
- ・おおたま・オータム・フェスタの充実に向けて、準備、実施をし、反省をしっかりと行って活動の有効性を検証する。

7 今年度より新たに位置付けられる学校関係者評価について

【事務局より説明】

- ・学校関係者による評価とは、保護者や住民が、学校の教育活動を観察し意見交換等を通じて学校の自己評価結果について評価をするもの。その評価をもとに、学校は改善に役立てていく。
- ・CS委員にはそれぞれ担当の学校を決めさせていただいた。学校関係者評価の機能はコミュニティ・スクール委員会で今までやってきたことと大きく変わるものではないので、どうぞご協力をお

願いたい。

8 グループ協議～おおたま・オータム・フェスタ担当打合せ

【事務局より説明】

- ・バスの運行表を決定した。全ての活動が連動しているので、活動する時間帯が制限されることをご了解いただきたい。
- ・必要な物、必要な経費についてご検討いただきたい。
- ・今年初めて実施となる行事なので、活動の内容はなるべく単純化して欲しい。
- ・早い時間に終了した学年は、学校に戻り、振り返りの時間に充てる。
- ・実施の主体は、あくまでも学校と幼稚園。今日の話し合いの結果を、学校・幼稚園でもう一度検討して決定させていただくことをご了承願いたい。

【グループ協議】

- ・別紙の実施計画書の案に基づいて各部毎にグループ協議を行う。（各部は4～6名で構成）
- ・校長、教頭、副園長、教務主任が各行事の部長として取りまとめる。
- ・話し合いの結果は報告書にて事務局へ提出する。全体での確認は行わず終了する。



9 閉会の言葉

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長より

〈次回の予定〉

- 大山幼稚園小学校オープンスクール 6月27日（月）13：30～
- 第2回コミュニティ・スクール委員会（大山幼・小）6月27日（月）16：30～